

# できる・できる・できる

## 現生徒会長対談 両会長の思い



令和七年生徒会選挙が終了し、新会長に二年生の前川湧豪さんが当選を果たしました。あと半月で任期終了となる現会長の三年生の平康生さんとの現生徒会長との対談を企画し、二人の思いを重ね合わせることにしました。



高坂 現新会長の対談よろしくお願ひします。まずは、現会長の平さんに尋ねます。任期終了まであと二週間となった今の心境はどうですか。

平 一年間、あつという間でした。やりたいことがたくさんありましたが、時間だけがどんどん過ぎてしまった感じです。そんな中でも楽しかったことがたくさんありました。満足感もそれなりにあります。

高坂 では、新会長の前川さん、あと二週間で会長就任ですが、今の心境はどうですか。



前川 先週に専門委員長候補への面接を行い、会長らしい仕事をしたなと思いました。僕が生徒会長なんだという実感がわいてきました。

高坂 専門委員長候補の皆さんは、自分を支えてくれる頼もしい人が集まりましたか。



平 多種多様で個性を持った人ばかりでした。とても頼もしく感じました。

高坂 専任委員長の皆さんは、自分を支えてくれる頼もしい人が集まりましたか。

前川 選挙で述べた公約となるのですが、二か月に一回、生徒会員の皆さんにアンケートを取り、その時々々の生徒の思いを知りたいです。このアンケートは、全校生徒で学校をつくるための大切な取組だと思っています。また、そのアンケート結果から、生徒会として取り組むべきことを一つ一つ増やしていきたいと思っています。

新会長に取組を実現可能とするためのアドバイスはありますか。

平 一人で抱え込まないことだと思います。僕も最初は一人ががんばろうとしていたのですが、常任委員の協力を得ながら進めることが何より大切だと気付きました。人に頼ることは難しいことですが、生徒会活動を充実させるためには、絶対に大切にしなければなりません。

前川 ありがとうございます。顧問の先生からも、そのようなアドバイスをいただきましたので気が付いたと思います。

高坂 まだまだ聞きたいことがあります。時間となりました。最後にお二人に聞きます、生徒会長になつて良かったですか。

平 良かったです。

前川 良かったです。

高坂 生徒会長にしか見ることができない景色を見たこと、これから見ることは大きいですね。これまで感じたことのない喜びがあった、これからあると思います。平現会長は残りの任期の期間、そして前川新会長は来年一年間、充実した活動ができるよう、私たち教師も全力で応援していきます。

発 行 者 学校  
長崎市梅香崎中学校  
校長 高坂 英晃  
HP: www.nagasaki-city.ed.jp/umegasaki-j  
TEL095-824-4997  
FAX095-822-4412